

「消費生活」に関連する市民グループとの 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時：平成22年10月25日（月）18:00～19:15

場所：消費生活センター

※ 平成22年度 第3回目

平成22年11月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年10月25日（月）18：00～19：15
場所：消費生活センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	消費生活研究会 女性	① 最近、桜島が活発に噴火をしている。 ク灰袋の収集について、急な坂の地域では一人暮らしの高齢者が指定場所まで持っていくのは苦痛になっているので、収集方法等を検討してほしい。	① 桜島の爆発回数が記録的に増えており、降灰量もこれまで以上に増えていて、皆さんお困りのことと思います。 ク灰袋の収集場所については、それぞれの地域で場所を決めていただいて、そこに市の収集車が回収に参ります。 今、お話のありました坂道とか、高齢者の方々が持っていけないという地域については、地域の方々と相談させていただいて、持って行きやすい所に収集場所を設けさせていただければと思います。	建設局	※市長回答のとおり
2	消費生活情報連絡員OB会 女性	② 自主学習グループで活動していて、今、起こっている消費者トラブルの情報を常に知ることができる環境は、防衛につながると実感している。 消費生活センターから、携帯電話やパソコン等を通じて「ABC消費者情報」を配信しているが、IT機器を使っているのに、高齢者をはじめ、そういう情報が発信されていることを知らない方が沢山いるのではないかと思います。 市民がこのような情報をもっと取り入れられるように、例えば、町内会を通じてといったような方法を検討してほしい。	② このメールマガジンについては、地域包括支援センターや老人クラブ連合会などに対して、メールの他にファックス等で情報提供を行っており、見守り機能強化の手段として活用しています。 また、消費生活センターでは、市内の全域にわたって、町内会や老人クラブの皆さんの要請に応じて出張講座を行っており、そこで、メールマガジンを配信しているという情報はもとより、その他の様々な情報を、そういった場でお話しています。 今後とも、今、お話がありましたように、地域でまとまりのある会等に積極的に出向いて、機会を捉えて市民の皆さんにメールマガジンやファックスで情報発信を行っていることを、お伝えしてまいりたいと思っています。 常に市民の皆さんに知っていただくということが重要ですし、そのことが消費者対策にも繋がっていくと思います。	市民局	※市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年10月25日（月）18:00～19:15
場所：消費生活センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	ナチュラル 女性	③ 市電は均一料金なので谷山から鹿児島中央駅まで160円で行けるが、バスは段階的に料金が上がっていくので、伊敷方面など（市電が通っていない地域）にお住まいの方からは、不公平ではないかという声も聞く。 市電の料金設定について、見直す考えはないか。	③ 交通局はバスと電車を運行しており、経営は大変厳しい状況にありますが、電車は環境にやさしく、定時性が高いことなどから、利便性の高い公共交通機関として多くの皆さんに親しまれています。 市電については、これまでも均一制の運賃体系をとってきており、多くの皆さんに乘っていただいているので黒字になっています。どこまで乗っても160円という今の料金体系は、市民の方々にも浸透していますので、今後も維持していきたいと思っています。 しかしながら、交通局もひとつの企業でするので、そのことが経営を圧迫したり、また、バスと電車の料金体系の不均衡について、多くの市民から指摘やご提言があった場合は、再度検討していかなければならないと考えております。	交通局	※市長回答のとおり
4	鹿児島市 地域消費者 リーダー 男性	④ 市役所への消費生活に関する市民からの相談件数は、平成15年をピークに減っているが、70～80代の高齢者に関しては増えている。 高齢者の増加に伴って件数が増えているという面もあるが、高齢者は悪徳商法やオレオレ詐欺等に引っかかりやすい。そして、被害を受けると、これまで築いてきた人生が無駄になり、悲しい思いをすることになる。 高齢者が安心して住めるまちづくりを進めるために、私たちも努力しているが、市はどういう取組みを行っているのか。	④ 消費者問題に関する事案は段々減ってきており、消費者庁の設置や県・市の取組みが功を奏していると思っておりますが、逆に、事案そのものは複雑多様化し、解決に長い時間を要するものが増えてきています。 特に、お話のありました高齢者の被害は増えてきており、その対策を立てることは喫緊の課題だと思っております。 高齢者の方々の見守りやオレオレ詐欺等への対応につきましては、地域の民生委員・児童委員協議会や地域包括支援センター、県警等の関係機関で構成する「消費者被害未然防止ネットワーク会議」を開催して、お互いの情報を共有し、連携しながら取組んでおります。 今後とも、地域の各機関や県警、県と市が十分連携を図りながら、消費者被害の未然防止に取り組んでいきたいと思っております。	市民局	※市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年10月25日（月）18：00～19：15
場所：消費生活センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	消費生活情報連絡員OB会 女性	⑤ 坂之上に住んでいるが、市電は（谷山方面に）どこまで延伸されるのか。	⑤ 市電の延伸については、谷山地域でこれまで検討してまいりましたが、今は振り出しに戻ったところです。 今後、JR谷山駅から慈眼寺駅まで鉄道高架化が実施されますので、その間にある17か所の「開かずの踏切」が解消され、鉄道で分断されていた地域が一体化されることとなります。 その中で、谷山電停からJR谷山駅まで市電を延伸するという話がありましたが、そうすると、また「開かずの踏切」ができてしまい、これを解消するために、市電も高架化しなければならなくなりますので、費用対効果を考えると、市電の延伸は断念せざるを得ないと結論を出しました。 しかしながら、市電の延伸については、今後、街づくりの観点から考えていく必要があります。今、市電は黒字ですが、バスは大幅な赤字ですので、交通局としてどのような対策を立てればいいのか市も検討した上で、延伸するか現状を維持するか判断していきたいと思っておりますが、今はまだ白紙の状態でございます。	企画財政局	谷山地区における路面電車の延伸の可能性については、平成14年度から17年度にかけて調査検討を行った結果、費用対効果の面などから総合的に判断し断念せざるを得ないという結論に至ったところです。 なお、谷山地区における路面電車延伸の意義として掲げられていたJR谷山駅と谷山電停間の乗継ぎ機能の強化については、現在進めている谷山駅周辺土地区画整理事業及び谷山地区連続立体交差事業による道路等の環境整備など、一体的なまちづくりを推進することにより改善が図られるものと考えています。 本市では、クルマに過度に依存しない、公共交通を軸とした交通体系の構築に向けて、市民・交通事業者・行政等が一体となった取組を進めるため、このたび「鹿児島市公共交通ビジョン」を策定したところです。 計画では、基本方針の1つに「特色ある公共交通を活かしたまちづくりの推進」を掲げ、今後都市景観や観光資源の面から、路線の新設の可能性など、路面電車のさらなる活用策の検討を行うこととしております。
6	ナチュラル女性	⑥ 軌道敷の緑化は現状までで終わりののか。 谷山まで伸ばすのか。	⑥ 市電軌道敷の緑化については、市内中心部である鹿児島駅から郡元、鹿児島中央駅までの併用軌道部分を、平成24年度までに整備していきます。 谷山方面につきましては、どのような形で緑化ができるのか、検討しているところです。	建設局	涙橋電停から谷山電停までの専用軌道区間については、現在、谷山電停と脇田電停付近に試験区間を設け、バラスト軌道（碎石を敷いた軌道）を活かした植栽基盤の構造や低管理型の緑化工法などの調査を行っており、今後の緑化については、この調査結果などを踏まえ、検討してまいります。
		⑦ 街の花壇について、郡元まではとてもきれいに整備されているが、そこから先は、谷山まで行くと町内会や老人会が管理している花壇があるものの、市が管理しているような花壇は見受けられない。 用地確保の問題もあると思うが、緑化を含めた、きれいな軌道について、どのように考えているのか。	⑦ 花壇については、来年3月から5月にかけて都市緑化フェアが開催されますので、県と一緒に、できるだけ市内に花と緑がいっぱいになるように取り組んでいます。 今、軌道敷の中にも色々な花を植えています。谷山方面の軌道敷も緑化できれば、もっと潤いや憩いが生まれると思っておりますので、今後の取組を見守っていただければありがたいです。	建設局	本市では、花や緑につつまれた潤いの空間を創出するため、町内会や通り会等へ花苗の配布を行っての「花いっぱい運動」を推進しています。 また、谷山地区の市設花壇については、谷山電停前広場ほか9箇所に花壇を設置し、年3回の植え替えを行っています。 道路との併用軌道敷における花壇については、年3～4回植え替えを行い、芝生とともに花の育成管理に取り組んでおり、専用軌道敷についても新たな観点から、緑化のあり方を検討したいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年10月25日（月）18:00~19:15
場所：消費生活センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	ナチュラル女性	<p>⑧ 谷山地区の通りにはイチョウが植えてあるが、枝を短く切りすぎて、一年中大きくならない状態が続いているところがある一方で、葉っぱが多すぎて電柱が隠れているようなところもある。</p> <p>街路樹の剪定についての考え方はどうなっているのか。</p>	<p>⑧ 市内の木々の剪定等については、行政の方でそれぞれの路線に植えてある木々の状況を見て、地域の方々のご要望もお聞きしながら行っています。</p> <p>剪定は計画的に実施しているところですが、お話がありましたように、地域の方々からは、「葉っぱが散れるから剪定してほしい。」とか、「木陰が少ないから切らないでほしい。」など、色々なご意見がありますので、それぞれの木々の生育の仕方なども十分検討しながらやっていると思います。</p> <p>今、本市では「まちと緑のハーモニープラン」を策定しており、街に木々や花がいっぱいになるように取組んでいます。</p>	建設局	<p>市道上の街路樹の剪定については、良好な樹形を維持することを基本としております。日照権、落ち葉等の問題等により市民生活への影響も顕著になってきていることから、剪定後の生長量などを考慮し、その樹木がおかれている状況に応じた剪定を行うとともに、民家への越境、信号や電線への影響など、必要に応じて障害となる枝を剪定しております。</p>
8	消費生活研究会女性	<p>⑨ 上町には、高齢者が運動できるような設備が無く、今は吉野まで出かけている。地域に小・中学校の体育館はあるが、昼間は使用できず夜間の開放のみであり、以前、祇園之洲にあったN T Tの体育館も無くなってしまった。</p> <p>高齢者が運動をしたいと思っても、なかなか難しい状況にあるので、そのような設備が上町にあればいいと思う。</p>	<p>⑨ 上町を含めた鹿児島駅周辺の整備につきましては、これまで「鹿児島駅周辺整備計画」に基づき、県と市、JR等と協議をしてきました。その中で、県は鉄道高架化を計画し、市は区画整理を行うということで話を進めておりましたが、県の財政状況が大変厳しくなってきましたので、昨年、高架化事業は断念したと聞いています。そうすると、これまで計画してきたことが変わってきますので、市としても区画整理をするかどうか躊躇しています。</p> <p>現状の中で、上町振興や地域の核になる施設について、まちづくりの観点から、早急に検討していかなければならない課題であろうと思っています。今、ご意見が出たことも踏まえて、地域の皆さんともお話ししながら、検討していければと思います。</p>	建設局	<p>鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業では、今年度、JR鹿児島駅を含む整備調査区域において、整備計画の基本設計と旧国鉄清算事業本部用地の土地利用についての検討において、民間の開発事業者等へのヒアリングなど土地利用ニーズ調査を実施することとしています。</p> <p>また、平成17年1月に「鹿児島駅周辺地区のまちづくりの基本的な考え方」についての提言書の提出を受けておりますが、改めて、当該土地の有効活用に向けて抱かれている希望や想いについて、地域の方々との意見交換を行うこととしており、土地の有効活用に向けた方策を検討してまいります。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年10月25日（月）18:00~19:15
場所：消費生活センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	消費生活研究会 女性	⑩ 国道3号線の花野口交差点付近に、不用物を集めて山積みしているところがある。景観が良くないし、歩道にはみ出している。 10年位前からその状態が続いており、視察して、早急に対応してほしい。	⑨ 早速、現場を調査させたいと思います。	環境局	10月26日に現地確認を行い、道路管理者である国道事務所鹿児島維持出張所で話しを伺ったところ、歩道上に置かれている品物については、不法占拠であることから警察と連携し撤去指導を行っているが改善されない状況とのことでした。 また、翌27日に事業者へ、廃棄物に該当する物については適正な処理を行うよう指導するとともに、有価物の保管についても景観に配慮するよう依頼を行いました。 今後も、廃棄物に該当する物については、適正な処理を行うよう指導を行ってまいります。
10	消費生活研究会 女性	⑪ 軌道敷の緑化について、熊本市が、鹿児島市の取組みに刺激を受け、九州新幹線の全線開通に向けて、熊本駅周辺で実施していると聞き、鹿児島市民としてうれしく思っている。 植えた芝は生き物であり、水が必要になる。維持管理のために放水車を走らせていると聞いた。軌道敷緑化に伴う緑地の維持管理経費を、どれ位計上しているのか。	⑪ 軌道敷の緑化については、あちこちで取組みを始めていますが、なかなか成功していないようです。本市の場合は、基盤にシラスを使い、芝も鹿児島のシラスに適合するものを使って、上手くいっているのではないかと考えています。 この事業に着手する際には、色々のご意見もありましたが、実施してみて、観光や環境の面、精神的な面、騒音問題などで関心が高まって良かったと思っています。 維持管理は確かに大変ですが、交通局が一生懸命ごみを拾い、また、芝を刈り水を撒く電車も開発しました。水撒き、雑草の駆除などの作業で、年間約2千万円ほどを使っているのではないかと思います。 確かに、維持管理にお金はかかりますが、今では、軌道敷にごみもほとんど無くなり、また、市民の皆さんに街をきれいにするという意識を持っていただく環境対策の一環にもなり、数字には表せない大きな効果があると思っています。 市街地周辺に緑を多くして、潤いのある街をつくっていければと思います。	建設局	市電軌道敷の芝生の維持管理費については、芝刈や散水などに要する経費として、年間約2千万円かかります。 芝刈・散水電車の完成に伴い、今年度から維持管理業務の一部を交通局へ委託し、作業の効率化を図るなど、今後とも維持管理コストの縮減を進めてまいります。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年10月25日（月）18:00~19:15
場所：消費生活センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	消費生活情報連絡員OB会 女性	⑫ HTLV-1の病気の予防に関して、妊婦健診時の公費負担について鹿児島市の状況はどうなっているのか。 予防だけでなく、キャリアの方への相談窓口を設けてほしい。 ※HTLV-1とは、成人T細胞白血病ウイルスのこと。感染経路として、ウイルスを持った母から子への母乳を通じた母子感染などがある。	⑫ 本市では、安心して子どもを産み育てることができる環境を作っていくことが、市政の重要な課題だと思っています。 HTLV-1の抗体検査につきましては、平成20年度から妊婦健診の初回健診で行う本市独自の検査項目として、すでに公費負担を実施しております。妊婦の健康診査についても、21年度から回数を14回まで増やして、公費負担で行っています。 HTLV-1に感染した方たちへの対応については、保健所を中心に、相談をしていただけるような体制を整えていければと思います。	健康福祉局	HTLV-1については、保健所及び保健センターにおいて随時相談を受け付けており、専門医療機関の紹介や家族への感染防止、健康管理の方法等について指導・助言を行っているところです。HTLV-1に関する相談の実施については、今後も市の広報誌等を通じて周知を図ってまいりたいと考えております。 ※妊婦健診時の公費負担については、市長回答のとおり
12	ナチュラル 女性	⑬ 鹿児島中央駅周辺で車を駐車場になかなかとめられない。九州新幹線が全線開通すればもっと混雑すると思うが、駐車場や交通渋滞の問題をどのように解消していくのか。	⑬ このことは長年の懸案で、ここまで交通量が多くなるとは予想していなかったために、県・市・JR等の関係機関の対策が遅れているというのが現状です。九州新幹線の全線開通に伴い、これまで以上に人は増えていくと思います。 そういった中で、東口と西口で、それぞれ関係機関による協議会を作っていますので、そこで十分協議しながら対策を立てていきたいと思っています。今、張り付いているものを壊して、新しいものを造っていくというのはなかなか難しい面がございますが、交通の流れや駐車場を設けることについて、検討していかなければならないと思っています。 お話をあつたことは、多くの方からご要望をいただいている大きな課題ですので、なかなか活路が見出せない状況ですが、タクシー協会やトラック協会、バス協会、商工会議所、県、JRなどの関係機関と協議をしながら、一生懸命取組んでいきたいと思っています。	企画財政局 建設局	（企画財政局） 中央駅周辺においては高速道路無料化の社会実験の影響などもあり、交通渋滞が激しくなっている状況であります。この問題については、本市のみで対応できるものではありませんので、県警など関係機関・団体と十分な連携を図り、現状や課題について共通の認識を持ったうえで、ハード面の制約がある中で何ができるのかを協議検討しながら対策を立てていきたいと考えています。 なお、周辺道路の効率的な信号処理や駅前広場の機能的な使い方など、個々の項目については、現在、関係機関と協議を進めているところです。 （建設局） 鹿児島中央駅周辺の交通問題については、関係機関と連携を図りながら、問題解消に向けた取組みを行っていきたくて考えているところでございます。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年10月25日（月）18:00~19:15
場所：消費生活センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
13	消費生活研究会 女性	⑭ 魚類市場の再整備について、中心市街地活性化基本計画が平成24年度までの5年計画で策定されているが、ウォーターフロント地区の海の玄関である鹿児島港本港区エリアの事業案の中に、魚類市場が入っていないのは寂しいと思う。 鹿児島中央駅からナポリ通り、市立病院を経て直進すれば魚類市場に突き当たる。ここを単なる流通取引だけの会場とせず、東京の築地のように、一般の方も入れるような多面的な施設にできないか。	⑭ 魚類市場については、今、計画を立てながら、整備を進めていきたいと思っています。お話がありましたように、魚類市場の立地は、ナポリ通り・パース通りを抜けて、直進したところがございます。 私は、鹿児島市を回遊性の高い街にしていきたいと考えています。本市の歴史や文化、自然、温泉のほか、黒豚やカンパチなどの食は、他都市に比べて素晴らしいものがありますが、鹿児島に新たな魅力を創出していくために、回遊性の高い街づくりを進めています。 その一環として、ナポリ通りやパース通り、北埠頭、鹿児島駅周辺といったところまで回遊できる街づくりを進めていきたいと思っています。回遊していただくためには、各地点に歴史や自然、食に関するものを点在させて、それらを結びつけるようなまちづくりが必要になってきます。 その中で、今、お話のありました魚類市場を整備するに当たって、流通施設という観点だけでなく、観光の拠点・食の拠点として活用することについて、「魚類市場整備検討委員会」の中で論議をしながら、方向性を決めていただきたいと思います。	経済局	市長回答のとおり、今後も「魚類市場整備検討委員会」において検討してまいります。
		⑮ 市立病院が平成27年度にJT跡地に移転すると聞いている。 病院の跡地は非常に立地が良いので、例えば、既存の建物を生かしながら、スポーツなど市民が自由に使えるような施設を作ってほしい。	⑮ 市立病院は、平成27年度にJT跡地に移転することとしており、ここが、鹿児島県内の救命救急や色々な診療の中心的な病院になるものと思っています。 跡地の活用につきましては、移転までに、市立病院と市で協議を進めていかなければならないし、市民の皆さんのご意見も十分お聞きしながら検討していきたいと思っています。中心市街地に近い一等地で、パース通りとナポリ通りの結節点ですので、有効活用を図らなければならないと思っています。	市立病院	病院跡地の活用については、病院建設の財源確保という財政面を踏まえ、その方法について市長部局と協議してまいります。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年10月25日（月）18：00～19：15
場所：消費生活センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
14	ナチュラル 女性	⑯ 鹿児島島の銭湯の90%は温泉だと言われている。また、鹿児島市内にはビジネスホテルがたくさんある。 観光振興策として、銭湯とビジネスホテルがタイアップできれば、宿泊客の増加に繋がるのではないかと。そして、函館や長崎のように、朝は魚類市場に行って食事をするといったような、市場を上手く活用する方法はないか。	⑯ 先週、九州市長会を鹿児島で開催し、多くの市長さんをお迎えしたので、「市内の銭湯の多くは温泉です。」という話をしたらびっくりされていました。これまでも、温泉については観光ポスターなどで情報発信をしてきたつもりですが、私たちの情報発信がまだまだ足りないのだと感じました。 お話のありましたことについては、それぞれの業界を束ねているホテル協会や浴場組合との連携が図れればと思います。 温泉についてはこれまでも情報発信をしていますが、今は、ホテルとの連携はできていないところですので、新幹線の全線開通に向けて、鹿児島の大きな目玉として、話してみたいと思います。	経済局	温泉の情報発信については、観光ポスターをはじめ、市内の温泉の情報を掲載したガイドマップの作成をし、PRを行なっています。21年度には、4ヶ国語版のガイドマップを作成しました。 新幹線の全線開業に向け、これらをさらに活用し、広く鹿児島島の温泉の魅力を発信してまいります。 また、銭湯とビジネスホテルのタイアップについては、現在ガイドマップを各ホテルに配布し、活用してもらっていますが、今後さらなる連携について他都市の実例を研究するとともに、働きかけを行ってまいります。 現在、県ホテル旅館組合が宿泊客を対象に魚市場体感ツアーを行っており、本市としても、多くの方々に市場を訪れていただけるよう情報発信に努めてまいりたいと考えております。
15	ナチュラル 女性	⑰ 現在、城西通り沿いで電線類の地中化工事を行っており、鶴丸高校前までを予定しているようだが、武の方面ではそういう話を聞かない。 今後、どこまで施工する予定なのか。	⑰ 電線類の地中化については、計画に基づいて実施していますが、九電や水道局、ガス会社などの関係団体があって、お互いに連携し、負担もしなければならぬので、なかなか大変な仕事です。 今、お話のありましたように、鶴丸高校までは実施していますが、その後については、関係団体と協議しながら進めていかなければならないと思います。	建設局	電線類の地中化及び道路整備については、平成20年度から鶴丸高校前の整備を行っており、平成24年度に完成する予定です。 中央駅西口交差点から武町交差点間については、鶴丸高校前の整備に引き続き、計画しているところです。
		⑱ 電線類の地中化工事にあって、今まであったアオギリが抜かれ、花壇がなくなってアスファルトで固められているところがある。 緑化については、どう取り組んでいくのか。	⑱ 緑化の問題につきましては、私は鹿児島を花と緑でいっぱいになりたいと考えていますので、事業の実施に支障が無い限りは、木も花壇も残したいと思っています。 事業を進めている担当部局にも、話をしておきたいと思います。	建設局	電線類の地中化工事にあたり、歩道上にあるアオギリ等が支障になることから、樹木を移植したものであり、今後植栽について地域の方々と協議の上で、緑の減少につながらないよう街路樹の適正な配置に努めてまいります。